

令和2年1月15日(水)

【第18回北陸地域連携プラットフォーム】

閉会挨拶

座長 中村 信一

本日は、基調講演「地方創生に向けた取組について」というようなことから、まずは第1期戦略の成果ということでございましたね。そして、次いで、詳細に第2期戦略の詳細な説明がございました。課題は非常に盛りだくさんでありまして、周知徹底していただきまして、各市、その都府県において何ができるのか、何が最も自分のところで使えるかというのが分かるように説明をしていただければ、大変効力が出るんじゃないかというようなことでございます。これが第1点。

第2点は、何といても地方創生に効果があるのは新幹線であると。2046年と言わずに、ここは何とか同盟じゃありませんが、ぜひとも早いうちに。太平洋側で大地震が起きる可能性を地震学者が推定していますよね。正しければ、できるだけ早くやらなければならない。幸いにして、2046年まで大地震が起きなければいいんですけど、起きたら「しまった」となりますからね。そういう意味でもできるだけ早く。少なくとも大地震が起きる前に、東京の直下型あるいは太平洋側の地震が起きる前に何としても。学者は、南海トラフ巨大地震について、今後30年以内にマグニチュード8以上の発生確率が70~80%と推定しているのですから、できるだけ早く大阪まで延伸するということが求められる。この2点。

もう一つ、私個人的には、やはり働くことの価値観。そこが非常に今後は大事だと思います。まだ日本ではやられておりませんが、欧米ではベーシックインカムを取り入れて、この中で本当に生活の基礎ができる。その上にプラスアルファを自分の生きる、働く価値観、そういうようなものがもう少ししっかりしてくれば、おのずと自分の好きなことができるところへ、収入が多いとか少ないではなくて、本当に自分がやりたいことを見つけると地方創生に大変よろしいのではないかと。私が地方創生に求めるのはそういうことです。ベーシックインカムも非常に大事ではないかというふうに思っております。

本日は活発な御意見どうもありがとうございました。

以上